

年末年始の「ごみ収集」と「し尿くみ取り」

次のとおり年末年始に伴うごみ収集日が変更になっていますので、詳しくはごみ収集カレンダーをご覧ください。

●収集地区B

新聞紙・折込みチラシ、雑誌・電話帳、その他の紙
12月23日(第4木曜日)→12月27日(第4月曜日)

●収集地区A・B

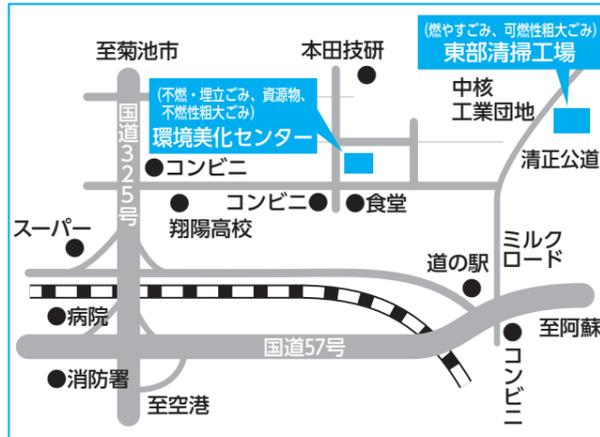
ペットボトル
1月3日(第1月曜日)→1月13日(第2木曜日)

●収集地区A・B

布類、段ボール、牛乳パック
1月10日(第2月曜日)→1月31日(第5月曜日)

収集日以外は、ごみを出さないください。
ごみを個人で持ち込む場合は、所定の処分手数料が必要です(ごみ指定袋に入れる必要はありません。搬入日をご確認ください)。

ごみの個人持ち込み先	
燃やすごみ 可燃性粗大ごみ	東部清掃工場 ☎293-5245
資源物、不燃・埋立ごみ 不燃性粗大ごみ	環境美化センター ☎293-1222



ごみ収集・し尿くみ取り日程表

日程	ごみ収集 (通常のごみ出し)	ごみを個人で持ち込む場合		し尿くみ取り
		燃やすごみ、可燃性粗大ごみ (東部清掃工場)	資源物、不燃・埋立ごみ、 不燃性粗大ごみ (環境美化センター)	
12月25日(土)	休 み	8:30~12:00	★8:30~12:00	12月24日(金)までに依頼があった分は、28日(火)までにくみ取りを行います。
26日(日)		★8:30~17:00	★8:30~17:00	
27日(月)	収集カレンダーのとおり	8:30~17:00	8:30~17:00	●問い合わせ 中野衛生(有) ☎232-0636
28日(火)		8:30~17:00	8:30~17:00	
29日(水)	休 み	★8:30~17:00	★8:30~17:00	
30日(木)	収集カレンダーのとおり			
31日(金)	休 み			休 み
1月3日(月)		休 み	休 み	
4日(火)	収集カレンダーのとおり	8:30~17:00	8:30~17:00	通 常

★特別開放日
※12:00~13:00は、受付を休みますのでご注意ください。



第2回 鼻ぐり井手祭

「第2回鼻ぐり井手祭」が11月7日、南部町民センターと鼻ぐり井手公園を会場に開催されました。

開会にあたり、鼻ぐり井手祭実行委員長の矢野誠也さんが、「近年、鼻ぐり井手は注目を浴びている。子どもたちにもこれを引き継いでいき、祭りも、この地域が盛り上がるために毎年行っている」とあいさつ。その後、会場ではさまざまなイベントが行われました。

町の無形民俗文化財に指定されている「馬場桶の獅子舞い」では、獅子が会場を練り歩きながら登場。三味線による演奏が流れる中、「玉取り」と呼ばれる獅子を操る少女4人が華やかな衣装を身にまとい、華麗な舞を披露しました。

また、講演会では山尾敏孝熊本大学教授が「石橋研究の最先端」として、人間の技術と知恵が生み出した石橋の魅力やその役割を講演されました。白菊保育園の園児たちは音楽に合わせてかわいらしく踊りを披露。そして南小学校の3・4年生は鼻ぐり井手が築造された寸劇を、模型や絵

鼻ぐり井手とは

1608年、加藤清正によって築造される。「鼻ぐり」とは牛の鼻の穴に似ていることが由来と言われている。鼻ぐりを通る水の力を利用して火山灰(ヨナ)を下流へ押し流す仕組み。そのほか水量調節など優れた機能が備わっている。当初は約80基設けられていたが、現在は24基を残すのみとなっている。

を取り入れながら発表しました。

鼻ぐり井手公園会場では、菊陽武蔵剣豪太鼓や音楽などの演奏が行われ、祭りをさらに盛り上げました。また、鼻ぐり井手探検も行われ、見学者は壁を手で触れてみたり写真をとったりして、その貴重な体験を記録していました。

世界に一つしかない「鼻ぐり井手」は400年たった今も生き続けています。地域住民の皆さんからは、これを守り引き継いでいこうとする熱い思いが伝わってきました。